

本線の検討状況

1. 令和7年度分科会での検討状況

(1) 第1回本線分科会 (R7.7.1 開催)

[議題]

- ・ 富山地方鉄道本線あり方調査業務について
- ・ 令和8年度の対応について（鉄道事業運営に係るモデル試算等）

(2) 第2回本線分科会 (R7.11.29 開催)

[議題]

- ・ 本線あり方調査の中間報告について（富山地方鉄道本線あり方調査業務等）

[議事要旨]

- ・ 運行形態は、鉄道ネットワーク維持と利用者の利便性の観点から、①現行路線維持、②あいの風とやま鉄道との並行区間の営業運行を廃止（車両回送に使用）、③同区間を廃止撤去（車両回送も行わない）の3パターンに絞り込んで今後の検討を進める。

(3) 第3回本線分科会 (R8.3.24 開催)

[議題]

- ・ 富山地方鉄道本線あり方調査事業について

[議事要旨]

- ・ 富山地方鉄道本線あり方調査の最終報告において、第2回本線分科会で絞り込んだ3パターンに関して、運行パターン別の収入・費用の具体化を図るとともに、今後10年間の内容と将来的な取組の内容に分けて整理した。
- ・ 令和8年度からは、県が事務局となる新たな検討組織を設置し、広域鉄道ネットワークの維持に向けた議論が進められることとなることから、沿線自治体や鉄道事業者が引き続き参加し、学識経験者も加え本調査データなどを有効活用し、持続可能で最適な地域交通サービスの実現を目指していくことを確認。

2. 今後の取組み

(1) 調査・検討の加速化

第3回本線分科会で示された最終報告について、学識経験者を交えて精査を実施

(2) 社会便益の議論

黒部市の市民団体が公表した本線（上市—宇奈月温泉間）の社会便益（年間約120億円）の試算結果について、議題として取り上げる。